

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人リアン LEGONKids +		
○保護者評価実施期間	2025年1月10日		2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が豊富であり、年齢や特性に合わせて様々なことに挑戦することができる	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に児童に活動内容についての要望を聞き取り、希望に沿った形で療育を展開する 様々なカリキュラムを提案し、選択する楽しさや挑戦する気持ちを養う 毎月活動内容を変更し一人一人が自分に合った活動を見つけることができるように促す 	現在療育内容が、小学生中心になる場合がある為、未就学児へのプログラム強化を図る
2	事業所内が清潔で、心地よく過ごせる環境になっており、活動に合わせてスペースを使い分けることができる	<ul style="list-style-type: none"> 常に事業所内を清潔に保つことができるように清掃業務に力を入れている 活動や児童数に合わせた空間を提供することができるように、部屋を区切り、空間を分けている 児童が自ら考え活動を展開することができるように知育玩具の設置や空間遊びが行えるスペースを設けている 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生面の強化を図り、清掃頻度を高め、より清潔で安全な事業所を目指す 児童に伝わりやすい形で衛生面について伝え、基本的衛生観念を持つことができるように促す
3	生き物や植物に触れ、命あるものに興味をもち、命の大切さを知ることができる環境がある	<ul style="list-style-type: none"> 児童が日頃過ごしているスペースに飼育環境を設け、気軽に生き物に触れ合える環境を作っている 季節ごとの農業体験を行い、食物の収穫を行うことで食育につなげる 生き物のお世話をを行う中で命の大切さ、尊さを知ることができるように促す 	<ul style="list-style-type: none"> より様々な生き物と触れ合う機会を設け、生命に対する興味・関心を促す 植物園や動物園への外出レクを行い、生命についてより詳しく学ぶ機会を設ける

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流会が頻繁に行っていない	<ul style="list-style-type: none"> 個々でのフィードバックや相談支援に注力していた為、保護者同士の交流の場の提供が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に保護者から聞き取りを行い、希望に応じて保護者交流会を開催する 保護者との面談の際に、興味のあるテーマやニーズについてお伺いし、より質の高い保護者交流会を実施する
2	地域交流の機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 地域での活動について調査が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な地域のイベント等を調査し、利用児童が地域の方と交流することができる機会を増やす 保護者様に地域の活動についてお伺いし、事業所が参加可能な地域交流の場を模索する
3	安全対策や緊急時の対応について、わかりやすい形で保護者への通達が行っていない	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応、災害時対応等が児童と職員中心のものとなっており、保護者様へ共有する機会が契約時のみであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者交流会等で定期的に、安全対策・緊急時対応の共有を行う 保護者様の要望に応じて、保護者参加型の避難訓練を開催する。また避難訓練開催時には保護者の方へのフィードバックをより詳しく行い安心して通うことができる事業所を目指す。